

# だんだん

## 水清く 山いろどる

多くの人が観光に訪れる清津峡。11月3日(文化の日)、晴れた空が紅葉の美しさを引きたてていました。発電所の点検で三俣堰<sup>せき</sup>で取水されていなかったため、この日前後の数日間は全量が清津川に流れていました。青く澄んだ清流は川底を透かし、来訪者には思わぬプレゼントになりました。



### 主な内容

- [特集] 10・23を忘れない  
市総合防災訓練実施 / 「想う灯」 2-4
- 十日町病院・松代病院の医療のあり方を考える… 5
- 中越震災十日町市記録集 あしたへ(内容紹介) 6-7
- 第40回十日町市美術展 …………… 8-9
- 大きな安心 国民年金 …………… 10-11
- 地域協議会紹介③ / 所得申告説明会 ほか 12-13
- 市環境基本計画 環境にやさしいまちづくり① 14-15
- 生活交通基本計画住民意識調査 / 全国大会出場選手 ほか 16-17
- 地域の風 ～支所からのたより～ …………… 18-19
- ときめきネットワーク ほか …………… 20-21
- まちの話題 TOPICS ほか …………… 22-23
- 上水道の決算 / お知らせ・ガイド …………… 24-27
- ジュニア芸術祭—千手小学校— …………… 28

# 特集

# 10.23を忘れない

## 十日町市総合防災訓練実施



平成16年10月23日に発生した新潟県中越大地震から3年。空前の被害をもたらした自然災害の恐怖は、今も私たちの記憶に鮮明に残っています。震災から3年目の節目を迎え、あのと時の教訓を未来に生かすとともに日ごろの防災意識を高めようと、10月21日(日)川西中学校をメイン会場に十日町市総合防災訓練が実施されました。また、23日(火)には長岡市立劇場での合同追悼式や復興を祈念する催しなどが各地で行われました。



川西地域での想定訓練に300人が参加

「10月21日午前8時56分、中越地方を震源とする地震が発生し、川西支所では震度6強を観測した」という想定で始まった十日町市総合防災訓練(市主催)には、国・県の機関をはじめ、警察、消防、医療、通信、福祉などにかかわる各種団体や自主防災組織、一般市民など約300人が参加しました。

自主防災組織を作りましょう

9月末現在、市内には323の行政区が加盟する182の自主防災組織が設立されています。これは、全行政区(437)の74%にあたり、人口の85%が加入しています。

自主防災組織は、災害時に被害の軽減や救助を行うために、住民自らが地域を守る組織です。任意の組織なので、現在ある集落や町内会などの組織を活用して地域の実情にあった防災体制を作ることができ、自主防災組織を作って、普段の防災訓練や危険か所の点検などを行います。

防災に必要な設備の購入や防災訓練の経費を助成する、市や復興基金による各種支援制度があります。

(3ページ参照)

## 県と7市町で合同追悼式



10月23日(火)、長岡市立劇場で新潟県と7市町(長岡市、小千谷市、十日町市、見附市、魚沼市、南魚沼市、川口町)が主催する新潟県中越大地震3周年合同追悼式が開催されました。

谷井靖夫小千谷市長による開式の辞の後、黙とうが行われ、会場を埋めた約1,000人の参加者は震災で亡くなられた68人のめい福を祈りました。追悼式で泉田裕彦新潟県知事は、「現在、被災地では地域の資源を生かした産業おこしや都市との交流など震災をバネにした取り組みが始まっています。こうした活動を重ね、心と心のつながり「きずな」を深めていくことが、中山間地域が持続的に発展



していく道と信じています」と追悼の辞を述べ、復興に向けて更に努力していくことを誓いました。

今回の追悼式には、吉田小学校・鏡島小学校の児童23人を含め、被災した自治体の19校の小学生133人が参加。各市町代表の児童7人が、映像を交えたメッセージで、地震発生当時の記憶や3年間の復興の歩みを伝えました。十日町市を代表して春日耀介さん(吉田小・6年)は、「ほくの住んでいる地区は大きな被害にあい、地区のほとんどの人たちが避難所や仮設住宅で生活をしました。そのとき、自衛隊や県外の人たちからたくさん差し入れや励ましをいただいたので、とても助かりうれしかったです。今は家から学校に通うことができ落ちて生活しています。そのことに感謝して、勉強や運動に精一杯取り組みます」と、震災を振り返りながら、さらに力強く頑張っていく決意を述べました。

式の終わりに参加児童全員が献花台前に整列し、参加者とともに「故郷(ふるさと)」を合唱し、復興を誓い合いました。

## 自主防災組織支援制度

問合せ：防災安全課または各支所市民生活課

- 1. 地域コミュニティ施設等再建支援(復興基金)**
  - 対象者：集会所などの施設を所有・管理し、自主防災組織を結成または結成しようとする集落・町内会
  - 対象事業：集会所などへの防災設備の整備
  - 対象経費：防災に必要な設備(発電機、投光器、担架、トランシーバー、消火器など)の購入費など
  - 補助金額：1施設につき上限200万円まで
  - 期間：平成20年度まで
- 2. 自主防災組織補助金(市事業)**
  - 対象者：自主防災組織(規約・名簿の届出が必要)
  - 対象事業：自主防災組織による防災訓練
  - 対象経費：
    - 防災訓練経費(詰替用消火薬剤、発炎筒、ガソリン、消火訓練用木材等の購入費など)
    - 防災訓練資機材費(消火器、発電機、投光器、ハンドマイク、テント、防水シート等の購入費及び借用料)
    - その他市長が認めるもの
  - 補助金額：補助率1/2以内、1行政区30,000円まで
  - 期間：平成21年度まで(年1回の申請が可能)

## 被災者生活再建支援金の申請期限などについて

中越大地震の被災者生活再建支援金の支給申請が済んでいない世帯は、下記の期限までに申請してください。なお、県制度の申請期限が延長になりましたのでお知らせします。

### 1. <国制度>被災者生活再建支援金

- 対象世帯：住宅被害が全壊(半壊の住宅を全部解体した場合を含む)または大規模半壊
- 制度適用：世帯の収入制限あり
- 支給額：世帯の収入や構成により、限度額が異なります
- 申請期限等：

	申請書の提出期限	実績報告書の提出期限
居住関係経費	平成19年11月22日	平成20年1月22日
生活関係経費	平成20年3月22日	平成20年5月22日

### 2. <県制度>被災者生活再建支援金

- 対象世帯：住宅被害が半壊以上
- 支給額：世帯の収入や構成により、限度額が異なります
- 申請期限等：

申請書の提出期限	平成20年3月22日

●申請先・問合せ：防災安全課または各支所市民生活課

# 十日町病院・松代病院の医療のあり方を考える

十日町病院等の医療提供体制に関する検討会はじまる



あいさつする伊藤正一座長（写真中央）

10月30日(火)、十日町病院や松代病院が今後果たすべき役割などについて、専門的な立場から広く検討する「十日町病院等の医療提供体制に関する検討会（第1回）」が市役所で行われました。

この検討会は、医療・介護関係者、地元住民の代表者と行政関係者合わせて16人で構成されています。今後、

約1年かけて地域に必要な医療などについて検討し、報告書にまとめることにしています。

今回は初回でもあることから、今後の検討項目やスケジュールなどの検討が行われ、座長に伊藤正一（新潟県医師会参与）さんを選出しました。今後、2か月に1回程度開催されることになりました。

検討会の委員、今後のスケジュールは表1・2のとおりです。

今後、検討会の概要や地域医療に関する事項について、市のホームページでもお知らせします。開設は11月中旬ごろの予定です。

（表2）検討会スケジュール（予定）

区分	開催時期	主な内容
第1回	平成19年10月30日	検討会の設置・検討項目等
第2回	平成19年12月ころ	十日町地域・中魚沼地域（栄村の一部を含む）における医療内容等の把握・分析
第3回	平成20年2月ころ	十日町病院、松代病院の医療機能の把握・分析
第4回	平成20年4月ころ	十日町病院、松代病院のあり方
第5回	平成20年6月ころ	市、県等の役割分担
第6回	平成20年8月ころ	連携方法
第7回	平成20年10月ころ	検討報告書作成・協議会に提言

※検討会のスケジュールなどについては、魚沼基幹病院構想の進捗状況や諸般の事情により、変更することがあります。

問合せ：十日町病院建設推進室（市役所健康支援課内）  
☎757-3187（直通）  
市ホームページ <http://www.city.tokamachi.niigata.jp/>  
医療・保健・福祉＞地域医療をご覧ください。

（表1）十日町病院等の医療提供体制に関する検討会委員（区分別、五十音順、敬称略）

区分	氏名
医療関係者 (4人)	伊藤正一 (新潟県医師会参与)
	上村晃一 (上村病院理事長)
	須賀良一 (中条病院・中条第二病院統括院長)
	高橋修一 (十日町市中魚沼郡医師会長)
介護関係者 (1人)	長谷川誠一 (ケアセンター三好園しんざ理事)
地元住民 (4人)	阿部洋輔 (生命が守れる病院をつくる会事務局長)
	井口カズ子 (前十日町市教育長)
	押木敦子 (川西地域協議会委員)
町(1人)	佐藤定行 (地域医療のあり方検討会長)
市(1人)	滝沢秀雄 (津南町副町長)
県(5人)	大島貞二 (十日町市副市長)
	佐久間義幸 (病院局総務課長)
	須藤祐悦 (十日町保健所長)
	塚田芳久 (県立十日町病院長)
	羽入利昭 (福祉保健部医薬国保課長)
	布施克也 (県立松代病院長)



地震が発生した3年前の午後5時56分に合わせて、商店街沿道に並べられたキャンドルを一齐に点火。十日町市で最も揺れが大きかった午後6時34分には、FMとおかまの合図で黙とうが捧げられました。その後、電球入りの光る風船「GINGA」を手にした市民約600人がキナーレから商店街を歩きました。交通規制をしたコモ通りでは、地元出身の歌手・高野千恵さんなどによるライブも行われました。



2003年の第2回大地の芸術祭でこの作品を展開しました。今こうして皆さんに受け入れられて光栄です。白色の風船に電球を入れて、暗闇に漂わせる。キャンドルの明かりもそうですが、灯には人を寄せ付ける力があると思います。3年前のあのときも、こうして地域の皆さんが集って、助け合い励まし合いながら震災を乗り越えてきたんだと思うと感慨深いです。その力は、変化を伴いながら新しい先につながるんだと思います。



「GINGA」作者 平野治朗さん

## 震災復興祈念イベント

# 中越から中越沖へ「想う灯」

中越大震災からの復興と、その経験を新たなまちづくり、地域おこしに生かそうと10月23日(火)、キナーレと各商店街、コモ通りを会場に「10・23『想う灯』つづく道つなげる明日」(主催：10・23想う灯実行委員会)が開催されました。3年前の震災のとき、人々の心の支えとなった「灯」をテーマに、商店街でのキャンドル灯火や光る風船を手に通りを歩く「GINGA」(作家：平野治朗さん)が催され、約1000人が参加して中越大震災と中越沖地震の被災者の追悼と復興を祈念しました。

また、21日(日)には、まつだ農舞台で「中越から中越沖へ『想う灯』チャリティーライブ」(主催：同実行委員会)を開催。地元学生などによるコーラスやバンドのライブとポップシンガー・ハナレグミ/ユザインのコンサートのほか、会場は延べ600人のファンで埋め尽くされました。寄せられた募金122,782円は10月29日(月)に柏崎市ボランティアセンターへ届けられました。



チャリティーライブ開催の呼びかけに、市内外の12組のアマチュアバンドなどが賛同し、熱演しました。

商店街やキャンドル灯火に協力してくれた「灯遊」の皆さん、そして参加してくれた市民の皆さんのおかげで、昨年に続いて今回2度目を開催することができました。今年は、中越沖地震もあつたので、被災した皆さんのことを思うと人ごとではなく「何かしなければ」という気持ちになりました。募集した応援メッセージもFMとおかまちゃんを通じて放送していただきました。震災はともつらいことでした。でも、嫌な思いだけ残すのではなく、みんなが協力し助け合ったつながりは、これからもはぐくみ続けなければなりません。



10・23想う灯実行委員会代表 関谷美和さん(41歳・本町1)

# あしたへ

語り継ぐ10.23 未来へのメッセージ



現在編集中の「中越大震災十日町市記録集」の内容がほぼまとまりました。多くの市民の皆さんから寄せられた体験談や写真とともに、市民編集委員会と庁内編集委員会を経て取材した先は60以上。大震災発生から3年経った今、伝えたいことや、空前の大災害のつめあと、復旧・復興の足どりを検証し、次代に語り継ぐメッセージを込めた市民の記録です。

道路事情が悪くても郵便は届けられました



住宅をはじめ土蔵なども大きな被害を受けました



地震直後の旧川西町役場の事務室。その後庁舎の一部は取り壊されました



避難生活でも、子どもたちは楽しみを見つけていました



市民編集委員会でもさまざまな体験が語られました



歌声で市民を励ましたベストパートナーにもインタビュー

## 中越大震災記録集「あしたへ」の構成

### プロローグ—— 市民が語り継ぐ10・23

- 1、突然の激震
  - ～中越大震災を検証する～
  - 被災エリア全体の被害状況
  - 十日町市はどんな被害を受けたのか
  - 地震発生の地質学的分析
- 2、地震発生から3日間
  - ～ドキュメント55時間～
  - 行政・消防・医療・ライフラインはどう動いたか
  - 寸断された情報とライフライン
  - 災害対策本部の動き
  - ～初動体制～
  - 地域消防団の活躍
  - 医療の現場はどう対応したか
- 3、地域の習慣を生かす
  - 地震発生、そのとき私はどう動いたか
  - 地域のきずながかに
  - ～それぞれの避難のかたち～
  - 災害要援護者はどう過ごしたか？
  - 被災地同士の助け合い
  - 道の駅が果たした役割
  - 住み慣れた土地を離れて
  - ～樽沢集落の全村避難～
- 4、避難生活の「衣・食・住」
  - 避難生活の「衣・食・住」
  - 医療・福祉チームの活躍
  - 自衛隊の災害支援活動
  - 防犯パトロール
  - 温泉の開放
  - どんな情報がほしかったか
- 5、地震発生4日目からの課題
  - 救援物資
  - ～何がなくて、何がいらなかったのか～
  - ボランティアの活躍と課題
  - ライフラインの復旧
  - 交通基盤の復旧
  - 住宅・建物の復旧
  - ～住宅の被害状況と被害判定～
  - ～ごみ問題
  - 報道の実際
- 6、復興へのターニングポイント
  - 復旧から復興へ
  - ～何がターニングポイント
  - ～どうだったのか～
  - 地震後の心から
  - 仮設住宅への入居
  - 風評被害を乗り越える
  - ～松之山温泉の取り組み～
  - 復興への祈り
  - ～十日町雪まつりと復興イベント～

### 7、3年経ったとおかまち

- この3年を振り返る
  - ～市長より～
  - 災害に強いまちづくりへ
  - 情報ネットワークの整備
  - 産業への影響と経済復興
  - ～観光／農業／建設・土木／きもの産業～
  - 新庁舎の建設
  - (中里・川西支所／商工会議所)
  - 文化財の保護
  - ～古文書ボランティア～
  - 激震ふたたび
  - ～2007・7・16

### 8、語り継ぐ

- 市民による
- 「体験ひとことメッセージ」
- 10・23を伝えよう
- ～市民から寄せられた体験談～
- 子どもたちの声
- 山の形が変わった！
- 無くなったムラ
- 雪国の防災
- 自然界の不思議な現象
- ～宏観異常現象～
- この震災で問われたこと(総括)

### 9、資料編：データで見る

- 復興の軌跡
- 中越大震災の概要／十日町市の震度／被害状況／初動体制と対応／

災害対策本部／避難所の状況／医療活動／支援活動／ボランティアセンター／ライフラインの復旧／復旧工事／義援金／支援制度／復興計画／防災計画／指定避難所など

### エピローグ—— 10・23を未来につなごう

- 付録
- 1、わが家の防災手帳
- 2、十日町市集落マップ

### ◆体裁

A4版160ページ前後

カラー(1部単色)印刷

◆価格 1,000円

◆配本 平成20年1月(予定)

※内容は変更になることがあります。

近日中に、市政事務嘱託員を通じて購入希望のとりまとめを行います。多くの申し込みをお待ちしています。※中越大震災義援金(地域配分/4月に配分済)を活用して集落(町内)一括で購入することも可能です。

■問合せ 総務課広報広聴係

☎75713112

# 第40回

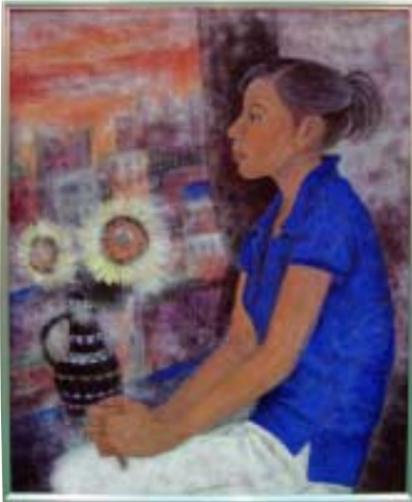
# 十日町市美術展

第40回十日町市美術展が10月20日(土)〜23日(火)の4日間、市民体育館で開催されました。8部門に313作品(日本画14、洋画73、版画14、現代美術6、彫刻2、工芸27、書道60、写真117)の応募があり、審査の結果、61作品が入賞に輝きました。入賞者は次のとおりです。(敬称略)

## 日本画

市展賞 「刻(とき)」

高橋 トモ (小千谷市)



奨励賞 樋口一孝 (四日町第3)

板橋ツギ (中条島)

新潟日報美術振興賞

関川捷次 (小千谷市)

佳作 大淵絹子、内山美恵子



## 洋画

市展賞 「18才」

渡辺 靖 (池之平)

※作品は左上

奨励賞 小林徳夫 (中屋敷)

樋口房雄 (南魚沼市)

根津一良 (尾崎)

新潟日報美術振興賞

角山 正

佳作 井上明子

小林幸一

東 祐義

庭野孝枝

井上美代子

長谷川キセ

蕪木恒治

## 版画

市展賞 「群」

羽鳥吉夫 (浅ノ平)



奨励賞 細貝昭平 (長岡市)

佳作 室橋浩一、松本山丹

## 現代美術

奨励賞 仲澤由宇 (十日町市)  
佳作 中 豊和 (稲葉)



## 彫刻

市展賞 「蟄龍」

山田令三 (南魚沼市)

## 写真

市展賞 「収穫の喜び」

涌井義雄 (学校町2)

※作品は下

奨励賞 高橋 徹 (南魚沼市)

桑原哲夫 (津南町)

中町一久 (下条蟹沢)

清水 正 (木島町)

新潟日報美術振興賞

小坂幸平 (稲荷町西)

高橋嵩一、滝沢和平

須藤 功、高橋健吉郎

田村正夫、庭野信一

郷山重信、鈴木耕治

近藤洋一、保坂千紘

仲 淳、村山晴好



## 工芸

市展賞 「風薫る」

市村久子 (本町6-3)

## 書道

市展賞 「蟄龍」

佐藤雄司 (津南町)

※作品は下

奨励賞 田口節子 (下川原町)

宮沢礼子 (伊達2)

桑原正明 (山本)

新潟日報美術振興賞

平賀良尊 (南魚沼市)

佳作 和田良一、庭野美奈子

中林喜子、金沢正明

市村敬子、宮沢良介

山岸繁雄



奨励賞 石田松男 (妻有町西1丁目)  
新潟日報美術振興賞

小川貴之 (五軒新田)

佳作 越村 騰、五十嵐江美子

樋口 進

# 国民年金のしくみと加入する人

日本国内に住所がある、20歳以上60歳未満の人は必ず国民年金に加入し保険料を納めます。



加入者(被保険者)は3種類!

## 厚生年金・共済組合

会社員・公務員など



**2階部分**  
勤務する事業所を通して加入する年金です。年金額も基礎年金に上乗せされます。(厚生年金・共済年金)

**1階部分**  
20歳以上60歳未満のすべての人が加入します。年金のベースになっている部分です。(基礎年金)

## 国民年金(基礎年金)

あなたのタイプは?

### 第1号被保険者

自営業者・学生など

20歳以上60歳未満の自営業・自由業・農林漁業・学生・アルバイト・無職の人



市役所の国民年金担当窓口

自分で納めます。支払いが困難な場合には、学生納付特例制度・若年者納付猶予制度・保険料免除制度などがあります。

### 第2号被保険者

会社員/公務員など

厚生年金や共済組合に加入している会社員や公務員などで就職時~65歳未満の人(65歳以上の加入者については、老齢・退職年金の受給資格を有していない人に限る)



勤務する事業所が加入手続きを行います

厚生年金や共済組合の保険料を納めます。それとは別に国民年金保険料を納める必要はありません。

### 第3号被保険者

会社員・公務員に扶養されている配偶者

20歳以上60歳未満で第2号被保険者に扶養されている配偶者



第2号被保険者の勤務する事業所

個人で納める必要はありません。国民年金保険料は、配偶者の加入している年金制度が負担します。  
※配偶者の給料から天引きされるわけではありません。

加入届出先

保険料の納め方

◆国民年金の届出や請求・相談は、市役所市民生活課年金係 ☎757-3116 (内線1677・1678) または各支所市民生活課  
◆厚生年金の届出や請求・相談は、新潟社会保険事務局六日町事務所 ☎025-770-2211

※納めた保険料は、全額社会保険料控除の対象となりますので、領収書は大切に保管してください。確定申告や年末調整の際には「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」や領収書の添付が義務づけられています。

**希望により加入できる人もいます**

- 1 日本に住む60歳以上65歳未満の人  
過去に保険料の免除を受けたり、任意加入しなかった期間があったりして老齢基礎年金額が満額にならないときに、加入して年金額を増やすことができます。
- 2 65歳に達しても老齢基礎年金を受給するために必要な期間が足りない人  
70歳までの間で年金の受給資格ができるまで、加入することができます。(昭和40年4月1日以前生まれの人に限りです)
- 3 外国に住む20歳以上65歳未満の日本人

大きな安心 きちんと納めて手に入る

# 国民年金

保険料は忘れずに納めましょう!

未納にしておく、将来老齢基礎年金が受けられなくなったり、もしものときの障害基礎年金・遺族基礎年金が受けられなくなったりする場合があります。  
第2号・第3号被保険者から第1号被保険者になったときには、忘れずに届出をしてください。

月額保険料は  
**14,100円**  
(平成19年度)

▲付加保険料…  
第1号被保険者で希望する人は月額400円を納付すると、老齢基礎年金に上乗せされます。

### 保険料前納制度

保険料を前納すると、保険料の割引があります。半年分前納と一年分前納があります。

保険料の納付は口座振替が便利です

申込みは、預金通帳・預金通帳届出印鑑・年金手帳を持参して、金融機関(銀行・農協など)や郵便局で直接行ってください。市役所での納付はできません。

## 保険料が納められないときは免除制度があります

『申請免除(全額・4分の3)』『若年者納付猶予制度』『学生納付特例制度』『未納』の違いについて

区分	老齢基礎年金を請求するとき	老齢基礎年金の金額の計算	障害・遺族年金を請求するとき	あとから保険料を納める期限	所得の審査対象
申請免除	受給資格期間に含みます	全額	3分の1が算入されます	納付済期間と同じ扱いです	10年以内
		4分の3免除	2分の1が算入されます		
		半額	3分の2が算入されます		
		4分の1免除	6分の5が算入されます		
若年者納付猶予制度 学生納付特例制度		算入されません			・請求者本人(20~29歳の加入者) ・請求者の配偶者 学生本人の所得
未納	受給資格期間に含みません		受給資格期間に含みません	2年以内	

## Q. 保険料の算定方法は？

A. 保険料は、後期高齢者医療広域連合の議会で決定される県内均一の基準によって算定される予定です。保険料は、被保険者が病気やケガをしたときの医療費の内、医療機関窓口で支払う患者負担分を除いた1割を皆で負担するように算定されます。1人当たりの保険料額は、被保険者が均等に負担する均等割額と、被保険者の所得に応じて決められる所得割額との合計額です（賦課限度額も設けられます）。所得割額の算定は、被保険者の総所得（基礎控除後）に所得割率を乗じて行います。



## Q. 保険料はいくらになるの？

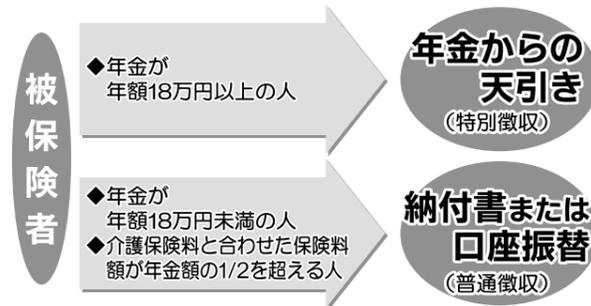
A. 保険料額の通知は、平成20年4月に、お住まいの市町村から届けられます。新潟県の保険料算定基準は、11月下旬に開催される広域連合議会で決定します。個人の保険料額は、それに基づいて算定され、通知は来年4月に届けられることになります。※国が試算した保険料全国平均は、年208万円の年金収入の

人で月額6,200円と示されています。

後期高齢者医療制度に加入すると、現在加入している国民健康保険などの医療保険からは脱退するため、国民健康保険税などの負担はなくなります。また、低所得者には、世帯の所得水準に応じた保険料の軽減措置が設けられます。

## Q. 保険料の支払い方法は？

A. 保険料の支払い方法は、年額18万円以上の年金を受けている人は、年金から天引きとなりますが、年金が年額18万円未満の人や介護保険料と合わせた保険料額が年金額の2分の1を超える人は、市町村から送付される納付書や口座振替で納めることになります。保険料の徴収や納付相談は市役所で行いますので、お気軽においでください。



## 所得申告に係る各種説明会を実施します

	日	時	対象者	会場
農業所得説明会	11月21日(水)	9:30~11:30	松代地域	松代総合センター
		13:30~15:30	松之山地域	松之山支所
	11月22日(木)	9:30~11:30	水沢地区	水沢公民館
		13:30~15:30	中里地域	中里総合センター
	11月27日(火)	9:30~11:30	下条地区	下条公民館
		13:30~15:30	十日町地域(下条・水沢地区を除く)	J A 十日町本店
11月28日(水)	9:30~11:30	川西地域	千手中央コミュニティセンター	
青色決算説明会	12月3日(月)	13:30~15:30	十日町地域の農業所得者	J A 十日町本店
	12月5日(水)	9:30~11:30	川西地域の農業所得者	千手中央コミュニティセンター
		13:30~15:30	中里地域の農業所得者	中里総合センター
	12月6日(木)	9:30~11:30	松代・松之山地域の農業所得者	松代総合センター
		13:30~15:00	松代・松之山地域の営業所得者	
	12月7日(金)	10:00~11:30	十日町市の営業所得者	市民会館
13:30~15:00		(松代・松之山地域を除く)		

問合せ 十日町税務署 ☎752-3181

市役所税務課 ☎757-3113

# 自立と協働

～地域協議会から～

各地域協議会を紹介します

## 中里地域協議会

### ◆◆◆元気な地域づくりを目指して◆◆◆

中里地域協議会は、公募による委員4人のほか、中里地域の7地区振興会や各種団体から選出された21人、合わせて25人で構成されています。

平成17年8月に発足以来、今年の10月までに30回(毎月1日に運営委員会、14日には協議会を開催)の協議会を開催しています。

昨年度までは、市からの諮問事項をはじめ地域振興基金の活用事業や、元気な地域づくりのための調査や検討を行ってきました。今後も重要な課題がたくさんあります。皆さんのご意見を協議会委員にお聞かせください。また、会議は公開していますのでいつでも傍聴できます。



### ◆◆◆今年の主な活動◆◆◆

- 第3回地域活動現況調査実施(集落・地区振興会) (調査事項)  
共同作業・伝統行事・イベントなどの実施状況とその問題点。地域協議会への要望。
- 地域振興基金活用事業審査  
・ミオンなかさとリニューアル事業  
・中里地区体育館事業  
・清津峡地域観光拠点整備事業
- 「まちづくり出前講座」受講  
・テーマ：「中里地域の活性化」  
「寄合いからはじめませんか。～5年後、10年後の我が集落のために～」
- 「まちづくり活動費助成事業」審査採択  
7団体から48万1千円の申請があり採択されました。
- 「まち・むらトーク」の開催  
10月24日(水)、中里総合センターで開催しました。テーマは「地域づくりは産業振興と安心生活から」でした。約70人の参加がありました。

■問合せ 総合政策課自治振興係 (☎757-3193)

十日町地域の各公民館 各支所地域振興課自治振興係

## 十日町南地域協議会

十日町南地域協議会は川治地区(高山を除く)と六箇地区を一つの地域として今年4月に発足しました。委員は振興会代表と地区代表、学識経験者、女性委員など25人で構成されています。

まだ産声をあげたばかりの南地域協議会です。これからあせらず、ジックリと地域住民の声を聞きながら実効性ある協議会を作り上げていく予定です。皆さんのご意見をお待ちしています。

役員は、会長に村山幸夫さん、同副会長に南雲徳榮さんを選任し、ほかに幹事7人、委員16人で構成しています。事務局は川治公民館内にあります。

※川治公民館 ☎752-2223

### ◆◆◆現在までの主な活動状況◆◆◆

- 「まちづくり活動費助成事業」審査採択  
①第28回妻有街道歩け歩け大会(六箇地区体協)(10月7日)  
②雪国「里山自然公園」整備事業(川治・こんぼすの会)
- 六箇小学校廃止に関する市からの諮問に対し答申  
・地元意見の尊重という意見を付し同意、答申しました。(10月)
- 「まちづくり出前講座」PR  
・今後も地域、団体の希望により随時取り次ぎします。
- 【まち・むらトーク】開催  
・11月6日(火) 会場：川治公民館
- 【十日町南地域協議会だより】発行  
・第1号発行(8月25日)





5つの環境目標

環境を守るための行動基本方針

十日町市環境基本計画にみる

環境にやさしいまちづくり



◆問合せ◆ 市民生活課環境政策室 ☎757-3740

市は、今後市が進める環境対策への指針となる「十日町市環境基本計画」を策定しました。これは、平成17年4月に制定した「十日町市住みよい環境づくり条例」に基づくもので、市民の代表者や各行政関係者で組織する「十日町市住みよい環境づくり審議会」で2年にわたり審議し、策定したものです。

自然をかけがえのないパートナーとして環境問題に取り組むために、私たち一人ひとりが自らの生活を見直し、知恵を出し合い身近なところから行動することが大切です。また、環境にやさしい循環型社会をつくることも求められています。

計画をたてた背景

現在の環境問題には、廃棄物の増大や生活排水による水質汚濁のような身近なものから、オゾン層の破壊、地球温暖化のような地球規模の問題まで、幅広い問題が含まれています。これらに共通する原因は、私たちの日常生活や事業活動から生じる廃棄物が環境に大きな負荷を与えていることにあります。

現在の環境問題を解決するために、自然環境への負荷を軽減し、環境にやさしい循環型社会をつくる必要に迫られています。そのためには、市民・事業者・行政のすべてが協力して、廃棄物の減量や循環・再生（リサイクル）を基本とした社会づくりを進めなければなりません。健全な自然環境を守り次世代に継承していくためには今何をすべきか、一人ひとりが真剣に考え、行動することが大切です。

計画のめざすところ

この計画の対象地域は、十日町市全域です。対象とする環境の範囲は、自然環境・生活環境・快適環境・資源の循環・地球環境・参加行動の6項目です。この環境の範囲を5つの分野に分け、それぞれの環境目標と今後実践するうえでの基本方針を定めました。それを体系に表したものが15ページの図です。

「十日町市住みよい環境づくり条例」に定める環境の保全に関する基本理念

- 第3条 環境の保全は、すべての者が互いの人権を尊重することを基本におきながら、緑豊かで潤いと安らぎのある環境を確保し、これを良好な状態で将来の世代に継承することができるように、適切に行われなければならない。
- 2 環境の保全は、地域における多様な生態系の健全性を維持及び回復するとともに、自然と人との豊かな触れ合いを保つことにより、自然と人との共生を確保するように、適切に行われなければならない。
- 3 環境の保全は、環境の保全上の支障を未然に防止することを基本に、環境にやさしい循環を基調とする社会を構築することを目的として、行われなければならない。
- 4 環境の美化及び清潔の保持は、すべての者が自発的な取組みによって行われなければならない。
- 5 地球環境保全は、すべての事業活動及び日常生活において着実に推進されなければならない。

環境講演会

「思いは地球規模で 行動は足元から」

10月28日(日)、情報館で、環境カウンセラーでもある漫才師・林家カレイ子さんによる講演会が行われました。主婦の目から見た身近な環境問題を提起し、「環境は学習ではなく行動です。一人ひとりの心がけが大切です」と訴えました。講演の中に、漫才のネタや老人施設を訪れたときのエピソードなどを交え、会場は終始笑いに包まれていました。



「十日町市環境基本計画にみる環境にやさしいまちづくり」は、今号からシリーズでお伝えします。

# スポーツの秋！ 各種全国大会出場選手を紹介します

10月23日(火)、市役所で秋季各種全国大会の出場選手報告と激励壮行会が行われました。出場大会と選手・チーム名、所属は次のとおりです。(敬称略)

■第62回国民体育大会(9月29日(土)～10月4日(木)、秋田県北秋田市ほか) ▼山岳縦走競技：樋口大棋(十日町高出身) ▼バスケットボール：林実和子(中里中出身)

■第38回ジュニアオリンピック陸上競技大会(10月26日(金)～27日(土)、神奈川県横浜市)：相馬由佳(川西中)、佐藤里奈(中条中)

■第23回日本ジュニア陸上競技選手権大会(10月19日(金)～21日(日)、大分県大分市)：志賀旭(安塚高・松之山中出身)

■第1回日本ユース陸上競技選手権大会(10月19日(金)

～21日(日)、大分県大分市)：小島亮(十日町高)  
 ■第56回全国青年大会(11月9日(金)～12日(月)、東京都目黒区ほか) ▼バレーボール：十日町チーム(保坂和則監督・12人) ▼軟式野球：中里クラブ(吉楽幸紀監督・24人)



■第4回全国少年相撲選手権大会(10月7日(日)、両国技館) 団体部門3位 十日町相撲教室  
 写真左から藤ノ木颯(東小2年)、片桐瞬(橘小4年)、金井旺雅(中条小5年)、佐藤崇(吉田小6年)、橋本拓実(能生中3年・中条小出身)



■第7回全国障害者スポーツ大会(10月13日(土)～15日(月)、秋田県秋田市) 陸上男子100M 1位・立ち幅跳び 1位 阿部尋喜(なごみ)



全国大会入賞おめでとう！  
 入賞した選手を紹介します。(敬称略)

■第62回国民体育大会 バスケットボール成年女子5位 林実和子



■第23回日本ジュニア陸上競技選手権大会 男子3000m障害3位 志賀旭



■第38回ジュニアオリンピック陸上競技大会 女子走高跳1位 相馬由佳(写真右) 5位 佐藤里奈



# 生活交通基本計画の策定のため、住民意識調査を行いました

市報8月25日号で、今年度に生活交通の基本計画を策定することをお知らせしましたが、その基礎資料とするため住民意識調査を行いました。その概要などをお知らせします。

- 実施時期：8月中旬～9月上旬  
 ●対象者：市民3,000人(16歳～80歳)  
 ●回収数：1,600通(回収率53%)

## 《結果(一部)》

- ◇16～18歳の約6割はバスを利用し、利用目的は通勤・通学が約8割に上る。
  - ◇19～64歳の約8割はバスを利用せず、利用時の目的は飲酒時が4割と最も多い。
  - ◇65～80歳の約5割はバスを利用し、通院や買い物を主な目的としている。また、4割は、通勤・通学、買い物・通院でマイカーを利用している。など
- ※調査結果などを詳しく知りたい人は総合政策課まで問い合わせてください。

上記の調査結果を踏まえ、住民代表による2回目の検討会議を10月中旬に開催し、意見交換を行いました。今後も、市報などで進行状況をお知らせしていきます。調査にご協力いただき、ありがとうございました。

●問合せ 総合政策課 企画政策係 ☎757-3193 (内線231)



古着を使ったカラフルな布ぞうり作りに挑戦

11月3日(文化の日)、キナーレを会場に「環境フェア」・「下水道フェア」が開催され、約4,000人が会場に訪れました。  
 「環境フェア」では、環境への理解と関心を深めてもらうと、天ぷら油(廃食油)をリサイクルしたBDF(軽油代替燃料)を使ったの機器作動実演コーナーや、浴衣などの古着を利用した布ぞうり作りなどの体験コーナーが開設されたほか、十日町市消費者協会による不用品代理販売も行われました。  
 また、環境フェアに併設して「下水道フェア」を開催。下水道のしくみや水質サンプル、汚泥をリサイクルしたセメント・堆肥原料などを紹介しました。両フェアとも体験や実演とおして、環境を守る大切さをPRしていました。

## 地球環境を考えよう！



廃食油をリサイクルしたBDFで投光機の作動実演



下水道の水質サンプル

# 第3回市民スポーツ大会

種目	種別	団体・個人名	種目	種別	団体・個人名	
ソフトバレーボール		チームHOSAKA	陸上競技	一般クロスカントリーリレー	十日町中の選択体育B	
バドミントン(一般)	シングルス	男子A	秋山元樹(川西)	相撲	団体	東小学校
		男子B	武田淳次(TBC)		小学2年	藤ノ木颯(東小)
	女子	武田千尋(まつだい)	小学3年		佐藤寛(吉田小)	
			小学4年		片桐瞬(橘小)	
ダブルス	男子A	(水落将志(下条バド)	小学5年	金井旺雅(中条小)		
	男子B	(吉関谷正博(まつだい)				
	女子	(武田桂一(まつだい)				
		(笠原裕子(BL club)				
		(伊藤晶子(BL club)				

訂正とお詫び  
 市報10月25日号に誤りがありました。11ページの市民スポーツ大会の陸上競技：一般クロスカントリーリレーの優勝チーム田辺T生誕30周年記念は十日町中の選択体育Bの誤りでした。お詫びして再掲します。

湯コー米マイ心ハート

# まつのやま

松之山支所  
☎596-3131

## 貸し農園で収穫にいい汗 都市住民との交流にぎわう

10月7日(日)と8日(体育の日)の2日間、東京都渋谷区の富ヶ谷一丁目商店街の皆さん19人が浦田地区を訪れ、稲刈りを行いました。全員がすげかさま姿になった富ヶ谷の皆さんは、5月に田植えをした10アールの田んぼで地元の人たちといっしょに汗を流しました。お昼は新米やキノコ汁など秋の味覚をたん能、夜には地元住民とのにぎやかな交流会が開かれました。

10月13日(土)・14日(日)には、ふるさと貸し農園(湯山地区)の稲刈りが行われ、会員など72人が参加しました。事業の発足



当初からの会員も多く、湯山管理組合の人たちとの息もピッタリで、手際よく作業が進められました。ほかにも、春に作付けしたサツマイモを収穫したり、ぬかがまで炊いたおにぎりをおいしく食べたりと参加者は松之山の秋をおおいに満喫していました。

# かわに新聞

川西支所  
☎768-3111

## 『市民ワークショップ』で3つの目標を確認！

10月22日(月)、地域住民と川西地域協議会委員、市職員による第1回市民ワークショップが、90人の参加者を迎えてにぎやかに開催されました。協議会ではこの半年間、川西地域振興計画づくりのため、各地区やさまざまな活動団体を対象に聞き取り調査や検討会を重ねてきました。

川西地域協議会委員と協議しました。その結果、川西地域の今ある資源を活用し、すべての力を結集して、「産業おこし」「人おこし」「地域おこし」に取り組むという目標を確認しました。また、この3つの目標ごとに、これから進める具体的な取組みのアイデアについても活発な意見交換が行われました。



市民ワークショップの詳しい内容については、今後発行される「川西地域のこれからのくらしを考えるワークショップ」便りNo.2で報告します。

今回開催された市民ワークショップでは、これまで積み上げてきた一連の作業の流れを地域の皆さんに説明し、川西地域振興計画づくりの作業日程や「まちづくりの課題のまとめ」について確認しました。さらに、協議会委員と行政が協働で作成した川西地域のまちづくりの目標案を発表し、参加者全

川西地域振興計画についてのご意見は、川西地域協議会事務局(川西支所地域振興課自治振興係内) ☎768-4951までお寄せください。

## 大蔵寺高原できのこ講習会



10月7日(日)、大蔵寺高原で「きのこ講習会」が開催されました。この日は、遠くは東京や神奈川などから家族連れなど37人の参加がありました。

受付後、参加者は2班に分かれてきのこ狩りへ出発。目当てのきのこを求めて2時間ほど山を歩きました。今年発生時期が遅れているとことで、収穫量もちよつと少なめ。収穫されたきのこは講師が鑑定し、食用・無毒・有毒に分別されました。苦労して採ってきたものが有毒と鑑定されると、おいをかいたり触れたりしながら、「これ、美味しそうなのに食べられないの」とガツカリする参加者も。講師によるきのこの見分け方や料理方法などの話に、参加者たちは真剣に耳を傾けていました。

## 農業祭と芸能祭で秋の一日楽しむ

10月28日(日)、松之山農業祭が自然休養村センターで開催され、天候に恵まれたこともあり、約2,000人の人出でにぎわいました。

午前9時20分、農業祭は松之山太鼓のメンバーによる勇壮な太鼓演奏で開幕。会場に設けられた野菜や農産加工品の販売コーナーには、市民や観光客がどっと押しかけ、目当ての商品を買い求めていました。味処サービスでは、おにぎりや手打ちそば、きのこ丼1,200食などを用意。恒例のもちつき大会には、つきたてのもちを求めて長い行列ができるなど、秋の味覚に舌鼓を打ちました。

隣接する松之山体育館では、文化協会による舞踊や歌舞伎を上演。秋の恵みを満喫したり、芸能文化をたん能したりと大勢の市民が秋晴れの一日を楽しんでいました。



## 第1回 市民の句碑公園俳句大会



10月8日(体育の日)、句碑公園、清竜寺(霜条)で川西観光協会(松本庚市会長)主催の「第1回市民の句碑公園俳句大会」が開催されました。

当日はあいにくの雨となりましたが、約50人が集まり、五・七・五の17音で作る日本独自の短詩型文芸を体験。公園内を散策し、それぞれ感じたものを作品にしてみました。昼食には、おにぎりとお汁が無料でサービスされ、参加者たちは会話をしながらおいしそうに食べていました。出来上がった作品は、句碑公園保存会、芦の芽会によって審査され、最優秀賞3人、優秀賞25人が選ばれました。作品は、川西観光協会ホームページ(<http://www.ngt-kawanaishi-kankou.jp/>)に掲載されていますので、ぜひご覧ください。

## 2007 福祉まつり

10月21日(日)、福祉まつりが千手中央コミュニティセンターで開催されました。千年の森ホールでは、介護予防をテーマに村山敏夫氏(助上村病院健康増進温泉ゆあーず室長)による講演「地域・家庭でできる介護予防について」、ひまわり座(代表 地域包括支援センター田中真由美さん)による介護予防劇「住み慣れた地域でいつまでも」を上演。ホワイエでは、なごみの家・しぶみの家・あんしんによる作品展・販売やふれあい福祉バザー、飲食バザーなど多彩なイベントが行われ、会場は多くの人でにぎわいました。



場内を沸かせたひまわり座による公演



**小野塚 日和ちゃん**  
おのづか ひよりちゃん  
平成15年12月12日生まれ  
みのり団地

プリキュアファイブのミントとオレンジがお気に入りのおひよちゃん。「今日父ちゃんいる？」が朝起きたときのごあいさつ。お仕事で留守がちなお父さんの帰りがとっても待ち遠しいひよちゃんです。



29



**井口 和志ちゃん**  
いぐち かずしちゃん  
平成16年1月8日生まれ  
上山

3人兄弟の末っ子のかずしちゃんは、とってもおもしろいお兄ちゃんです。ゼンマイ侍とゲキブルーが大好きなかずしちゃん。ひいおじいちゃんといいおばあちゃんが1番の理解者です。

## ときめき ネットワーク

ずっと農業にかかわっていききたい！

大学を卒業して、今年の4月から働いています。川西土地改良区は、地域内の農業施設の維持管理をするのが仕事です。5つのダム濁度を調べたり、漏水量の数値をチェックしたりして堤体の安全を確認しています。机上よりも現場に行ってみて聞いて、体で覚えることがたくさんありますね。ダムの水は主に農業用水として供給されます。地元の特産品コシヒカリを作る田んぼに供給する水に、直接かかわっていただけること、農業がある限りそれに貢献していただけることにやりがいを感じています。これから先は、災害時、緊急時に確な対応が取れるように、経験を積んでいきたいと思っています。

都会と違って、夜は暗くなる田舎が好きです（笑）。学生時代はよく旅行に行っていたけど、社会人になると休みが少なくてなかなか行けない。今度海外旅行にでも行ってみたいなあ。



**押木 俊輔 さん**  
1983年生  
川西土地改良区勤務

先月の岡村栄美さんからバトンタッチ。

寒くなり空気が乾燥する冬場は、インフルエンザをはじめとする感染症が流行する時期です。日ごろの健康管理に努めましょう。

**かぜ・インフルエンザの予防**

- 手洗いは、石けんで15秒以上洗い、流水でよくすすぎます。細菌が1/4〜1/13に減ります。
- うがいには、水やうがい薬、塩水などで1日数回行います。細菌が1/4に減ります。
- 水分は、大人の場合、水やお茶などを1日コップ7〜8杯が目安です。十分な水分補給は、のどの粘膜の働きを活発

### 予防が一番！ 冬場の感染症

にし、細菌を体の外に出しやすくします。

- 主食（ご飯・パン・麺類）と主菜（肉・魚・卵・大豆製品）・副菜（野菜・海藻・きのこ類）がそろった、バランスのよい食事を心がけましょう。特に野菜を多く入れたシチューや煮物・鍋料理は体も温まりお勧めです。
- 十分な睡眠と休養を心がけましょう。
- 衣類や室温の調節、こまめな換気を心がけましょう。
- 外出は人混みを避け、マスクをしましょう。
- 高齢者や持病のある人などはインフルエンザの予防接種を



問合せ 健康支援課母子保健係  
TEL757-3719（内線123）

お勧めします。

### ノロウイルス 感染症の予防

下痢・嘔吐・腹痛などの症状が現れ、冬場に流行します。

- 日頃の健康管理はかぜ・インフルエンザ予防と同じです。
- カキなどの二枚貝は、十分火を通して食べましょう。
- 調理前やトイレの後は、石けんと流水で、手の指の間や爪の先まで、ていねいに洗いましょう。
- 症状がある人の吐物や便の処理は、ゴム手袋やマスクを着用し、汚物が周囲に広がらないようにペーパータオルなどで包み込み、ビニール袋に密閉して捨ててください。
- 吐物などで汚れた床などは、家庭用塩素系漂白剤（水2リットルにキャップ1杯半を溶かす）を含ませた布で被い、10分程度置いてふき取ります。

いずれも感染を疑う症状が出たら早めに受診しましょう。



## 十日町市文化協会連合会文化賞

第13回十日町市文化協会連合会（山内正胤会長）の文化祭が11月3日（文化の日）にクロス10で開催され、地域の芸術・文化の振興に貢献した1団体・個人5人が表彰されました。文化賞の受賞者と主な功績は次のとおりです。

- ◆高崎正弘（正風）さん（学校町・71歳）  
長年にわたり、地域俳壇の指導者・選者として活躍し、俳句文芸の普及と発展に尽力
- ◆高橋幸子さん（昭和町1・59歳）  
長年にわたり、きものショーできもの十日町のPRおよび音楽文化の振興に尽力
- ◆村山峰子さん（新宮第2・64歳）  
長年にわたり、広く十日町きもの文化の振興とキルト展の開催に尽力
- ◆樋熊フサ子さん（新座第4・65歳）  
長年にわたり、写真芸術界で活躍し、また石影シンポジウム写真集の編集に尽力



- ◆樋熊義明（神邑）さん（新座第1・60歳）  
長年にわたり、詩吟神風流神邑会長として詩吟の普及・発展と数々の栄光に輝いた功績
- ◆十日町川柳研究会（代表 西郷かの女さん）  
長年にわたり、川柳研究の団体として川柳文芸の向上と地域文化の発展に尽力



### 県内100か所でのろしをリレー

10月20日(出)、新潟県内約100か所をのろしのリレーでつなぐ「にいがた狼煙プロジェクト」(同実行委員会主催)が行われました。これは、秋の観光キャンペーン「にいがた大収穫祭」と連携して各地域の観光振興を図るとともに、中越大地震と中越沖地震の復興を祈念する催しとして実施されたもの。市内からは、春の節黒城山開き祭りで「のろしネットワーク」を実施している節黒城、大井田城、峰の薬師城、千手城、野口城と、松代地域の松代城、犬伏城、蓬平城、室野城、蒲生城が参加し、秋空に白煙をたなびかせました。節黒城ののろし上げ(写真)に参加した仲嶋竜之助さん(7歳・上野)は、「のろしがまっすぐ真っ白に上がってうれしい」とはしゃぎながら話しました。

### 移動点字図書館開催

点字図書館の概要や利用方法などを案内し、視覚障害者の利用拡大を図ることを目的に、10月28日(出)、情報館で移動点字図書館が開催されました。新潟県点字図書館は、視覚障害者情報提供施設として、点字図書・録音図書・デイジー(CD)・図書・テープ(CD)・雑誌のほかデイジー雑誌の製作・貸出など、視覚障害者の生活や文化にかかわる情報提供を行っています。この日は、約30人が会場を訪れ、職員からの説明を熱心に聞きながら器具の操作を練習していました。



### キナーレ明石の湯 入館者50万人達成!

キナーレ明石の湯の入館者が10月26日(金)、50万人に達しました。見事50万人目の入館者となったのは、市内春日町1丁目の池田トキさん(83歳)です。池田さんは、「今日は小学校の同級会で来ました。毎月第1土曜日に、十日町軽スポーツクラブにいたときの仲間5人で来ています。キナーレは広間が広くてゆっくりできるし、気楽なところが気に入っています」と話していました。池田さんには、記念として花束のほか明石の湯の入浴券などが贈られました。また、達成日を予想するクイズでは、26日を予想した375人の中から抽選で、細谷千恵子さん(春日町2)に液晶テレビが当たりました。平成15年7月12日のオープン以来、1,344日での50万人達成となりました。



## まちの話題 TOWN TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありませんでしたら、総務課広報広聴係(☎757-3112内線213)へ、お気軽にお寄せください。

tokamachi topics

tokamachi topics



### 秋を彩る公民館まつり 各地域で開催

9月下旬から11月上旬にかけて、恒例の公民館まつりが市内各地域の公民館などで開催されました。10月27日(出)・28日(出)に行われた中央公民館まつりでは、スタンプラリーや金魚すくい、紙飛行機ゲームなどのアトラクションが子どもたちに大人気。また、11月3日(文化の日)・4日(出)の中里公民館まつりでは、第3回中里地区芸能祭・芸術祭や焼き物体験教室、チャリティー茶席などが行われ、家族連れなど大勢の人出でにぎわいました。このほかの会場でも、講座生や地域の皆さんの作品展示やステージ発表、バザーなどさまざまなイベントが行われ、多くの方が芸術や文化に親しみながら秋の一日を満喫していました。



中央公民館



下条公民館



松之山体育館



ユーモール



### ふれあい体験 どぼくの日

10月20日(出)、キナーレを会場に、「どぼくの日 第10回ふれあい体験パークとおかまち」(十日町地域振興局・十日町地域土木振興会主催)が開催されました。これは、土木事業のPRとして毎年この時期に行われているものです。会場では、降雨体験装置や土砂災害3D体感装置の実演、除雪機械の展示、災害救助犬訓練などが行われ、中でも、恒例となった高所作業車の試乗体験コーナーは大人気。親子連れなどで長蛇の列ができていました。この日は、約2,500人が会場を訪れました。

### 舞台やりがいに 輝き増すエイジレス

小野塚英治さん(上川手・85歳/写真右)がエイジレス章を受章しました。これは、年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由でいきいきとした生活「エイジレス・ライフ」を送る高齢者を内閣府が顕彰するものです。小野塚さんは、奥さんの介護と新聞配達をしながら松之山上川手歌舞伎保存会の座長として、また女形として若い娘役を演じるなど、地域文化継承のため日々研さんを積んでいます。受章にあたり小野塚さんは、「公演でお客さんから喜んでもらえるのが何よりやりがいの。昔の人が頑張って作ってきたがだすけ、これからの若い人にも大事に伝えていかなければ」と話していました。



### 19年度出土品展—— 出土品が語る 新潟の歴史

- 会期=11月10日(土)~12月9日(日)午前9時~午後5時(入館は4時30分まで)
  - 会場=博物館
  - 入場料=無料※常設展を見学する場合は一般300円(団体20人以上250円)、中学生以下無料
  - 休館日=毎週月曜日
  - 問合せ=博物館(☎757-5531)
- 《発掘調査報告・展示解説》
- 日時・会場=11月23日(金) 発掘調査報告:午後1時15分~情報館 展示解説:午後3時~博物館
  - 参加費=無料



お知らせ・ガイド  
市役所 TEL 757-3111

### 核兵器廃絶平和都市宣言 式典・原水爆禁止十日町 市協議会50周年記念式典

50周年記念特別公演として講師・神田香織さんによる記念講演「はだしのゲン」を行います。入場無料です。●日時12月1日(土)午後1時30分 ●会場 市民会館 ●問合せ 生涯学習課

### 第29回十日町 新雪ジョギングマラソン

雪に負けず、雪に親しみ、新雪の中を駆け抜けてみませんか。●日時20年1月2日(水)午前8時~9時30分受付・10時開会式・10時30分一斉スタート ●集合場所 十日町中学校 ●種目 課(☎757-8918)

### 映画「ふみ子の海」 上映会

●日時11月24日(土)①午前11時②午後1時50分③午後4時10分④午後7時 ●会場 市民会館 ●入場料 一般・シニア1,000円(当日1,500円)、小・中・高生800円 ●前売券取扱い 本庁福祉課、中央公民館、各地区公民館 ●問合せ 十日町シネマトーク事務局(☎768-3404)

### 木落そばまつり

地元生産の新そばを堪能しませんか。●日時11月18日(日)午前11時30分 ●会場 木落構造改善センター ※前売券(大人800円、小学生500円)が必要 ●前売券取扱い 永井商店(☎768-2520) ●問合せ 川西観光協会(☎768-4951)

### ナカグリーンパーク ファイナルコンペ

●会場 申込み・問合せ ナカグリーンパーク(☎768-4419) ●シヨートゴルフ大会 ●日時11月23日(勤労感謝の日)午前9時受付 ●参加費 1,500円(プレー代別) ●定員 40人

### 千手温泉 千年の湯 6周年 秋の感謝祭

味のテント、福まき、もちつきなどがあります。●日時11月23日(勤労感謝の日)午前10時 ●会場 問合せ 千手温泉 千年の湯(☎768-2988)

### 第16回 ゆーコンサート

●日時11月18日(日)午後2時~4時 ●会場 千手中央コミュニティセンター ●入場料 無料 ●内容 ピアノ・合唱・大正琴・アンサンブルなど ●問合せ 楽友協会(☎768-4817)

### 市民吹奏楽団 第33回定期演奏会

●日時11月18日(日)午後2時~

### 8人の妻有焼展

おいしい米、野菜を育てる妻有の土が「やきもの」になったらどんなものが生まれるだろう。8人の陶芸家による妻有焼展です。



●会期=3月9日(日) 午前10時~午後5時(受付は4時30分まで) ●会場=まつだい農舞台 ●入館料=大人500円、小・中学生300円(20人以上の団体は100円引き) ※一度入館した人は、チケット提示で会期中何度でも閲覧可 ●休館日=毎週月曜日(祝日の場合は翌日)・12月25日~1月4日 ●アーティストトーク・レセプションパーティ ●日時=11月23日(金) 午後4時~アーティストトーク 6時30分~レセプションパーティ ●会場=まつだい農舞台 ●参加費=無料※本展のチケットが必要 ●問合せ=まつだい農舞台(☎595-6310)

## 18年度

# 上水道の決算

平成18年度の水道事業会計(簡易水道を除く)決算が、9月に行われた第3回市議会定例会で認定されました。概要をお知らせします。

### ◆上水道は単独会計

市の水道事業は、十日町・中条・川治・川西の平場地区に給水している上水道事業と、そのほかの地区に48施設ある簡易水道事業の二つに分かれ、会計はそれぞれ別になっています。

### ◆上水道は独立採算制

上水道事業は、地方公営企業法が適用され、企業会計方式で処理を行っています。また、独立採算制をとっており、料金収入の約43%にあたる企業債(借入金)の元利償還金をはじめ、人件費・動力費・修繕費・薬品費などすべての経費を水道料金などの事業収入でまかっています。

### ◆上水道の経営概要

18年度の料金収入は、使用水量の増加により、17年度に比べ約561万円増加しました。これに対して経費は、特別損失(災害復旧費など)や支払利息などの減により約1億1,210万円減少しました。これらの結果、収益的収支では約1億2,9

50万円の純利益を計上しました。しかし、水道施設の建設改良に充てる資本的収支は、下表のとおり収入不足のため減価積立金や損益勘定留保資金(減価償却費のように収益的収支において現金の支出を必要としない費用)などで補てんしました。

●問合せ 上下水道局  
☎757-3115 (内線93)

### ◆主な施設改良事業

21か所、計3,571mの配水管等布設・布設替工事のほか、第9水源地のテレメータ更新工事を実施しました。

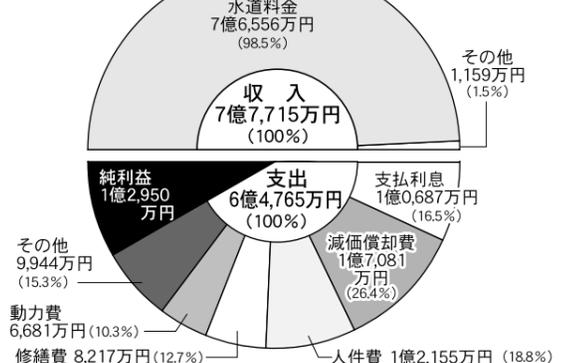
### ◆企業債の状況

水道事業は、多額を必要とする施設整備費を長期借入の企業債で充て、その後の料金収入で償還していく仕組みになっています。18年度は施設改良費に充てるため、新たに企業債を3,500万円借り入れしました。しかし、過去の企業債償還金として約2億2,311万円返済した結果、年度末の未償還残高は約1億3,560万円になりました。

### ●上水道事業の業務量状況

区分	18年度	17年度	前年度比(%)
年度末給水栓数(栓)	12,228	12,261	99.73
年度末給水人口(人)	34,126	34,378	99.27
年間総配水量(m <sup>3</sup> )	4,408,455	4,383,056	100.58
有収水量(m <sup>3</sup> )	3,825,552	3,794,219	100.83
有収率(%)	86.78	86.57	100.24
年度末消火栓数(基)	471	471	100.00
年度末配水管総延長(m)	193,138	191,537	100.84

### ●収益的収入及び支出 (消費税抜)



### ●貸借対照表 (平成19年3月31日現在)

資産		負債及び資本	
科目	金額	科目	金額
固定資産	55億0,534	固定負債	1億3,905
流動資産	4億4,065	流動負債	3,447
		資本金	31億7,204
		剰余金	26億0,043
合計	59億4,599	合計	59億4,599

※資本金のうち19億3,560万円は企業債(借入資本金)です。

### ●資本的収入及び支出 (消費税込)

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
企業債	3,500	建設改良費	2億3,211
負担金	1,359	企業債償還金	2億2,311
補償金	4,679		
加入金	1,330		
合計	1億0,868	合計	4億5,522

※収入が支出に対して不足する額3億4,654万円は、損益勘定留保資金などで補てんしました。

### 寄付ありがとう

10月25日届出分まで (敬称略)

- 地域福祉基金へ＝十日町懐メロ愛好会 (25,727円)
- 情報館へ＝丸山幸子 (水沢2) 阿部和誉 (高田町3南) 庭野勇吉 (高田町3西) ㈱十日町新聞社 (北新田3)
- 博物館へ＝岩田勉 (下川原町) 大関義男 (西浦町西)



### 「ガラスびん」は3分別を

飲食に使われたガラスびんは、色別に収集しますので、中をきれいに洗ってから「無色」「茶色」「その他の色」に分けて収集かごに入れてください。ご協力をお願いします。【注意】  
 ください①茶色のビールびん・酒やしょうゆの一升びんは販売店へ②ガラス製以外や飲食以外に使われたびん(化粧品・薬品など)は「埋立ごみ」●問

〔開場1時30分〕●会場＝市民会館●入場料＝700円(当日800円)※小学生以下無料●曲目＝「パイレーツ・オブ・カリビアン」『風林火山のテーマ』ほか●ブレイクガイド＝イトー楽器・楽器のおぎの・中央公民館●問合せ＝庭野(☎757-2351)

### 新そばの会

自作のそばを食べてみませんか。珍しい古代米の黒米そばも作ります。●日時＝11月18日(日)午前10時～●会場＝枯木又地区交流施設のつとこい●参加費＝大人1,500円、中学生以下1,000円●問合せ＝春川(☎759-2216)

### 十日町市芸術協会 第17回チャリティ展覧会

会員の作品を展示・販売します。●日時＝12月1日(土)・2日(日)午前9時～午後8時30分(2日は5時まで)●会場＝中央公民館●入場料＝無料●問合せ＝若月(☎757-0311)

### ファミリーコンサート

小さなお子さんもお楽しみいただけます。出演者と演奏してくれるけんぱんハーモニカ隊も募集中です。●日時＝12月9日

(日)午後2時30分●会場＝千年の森ホール●入場料＝▼シングル券・3歳～小学生500円、中学生以上1,000円▼ファミリー券・1,800円(大人1人・小人2人)●曲目＝「アニメドレー」,「ベートーベン」,「悲愴」ほか●チケット取扱＝中央公民館、情報館、千手中央コミュニティセンター、楽器のおぎの●問合せ＝ファミリーコンサート実行委員会 澤瀉(☎090-8011-4024)

### 夢つくすと留学生による 異文化理解講座

料理や観光、言葉などネイティブの文化を紹介します。料理の作り方を習いたい人は事前に連絡してください。●日時＝11月25日(日)正午～午後2時●会場＝働く婦人の家(南魚沼市)●参加費＝500円、小学生以下無料●申込み・問合せ＝11月20日(火)までに久保田(☎080-6564-6833)



### 公営住宅入居者募集

●募集期間＝11月12日(月)～26日

合せ＝環境衛生課(☎752-3924)

### 千年の湯臨時休館

定期点検のため、11月28日(水)・29日(木)は臨時休館となります。●問合せ＝千手温泉千年の湯(☎768-2988)

### 十日町地区若年者求人・就職相談会

おおむね34歳までの若年者を対象にした求人・就職相談会を開催します。●日時＝11月28日(水)午後2時～4時●会場＝クロス10●問合せ＝ハローワーク十日町(☎757-2407)

### 検定試験のご案内

インターネットを利用して試験の施行から採点、合否判定までを行います。●検定項目①日商PCC②EC実践能力③日商ビジネス英語④電子メール活用能力●試験日＝12月15日(土)●会場＝十日町パソコンカレッジ●申込み・問合せ＝12月10日(月)までに、申込書(問合せ先に配置)に受験料を添えて十日町商工会議所(☎757-5111)

### 知的財産権相談会

特許や商標などに関する制度

(用)※入居資格などの申込み条件の詳細は問い合わせてください  
 ●申込み・問合せ＝克雪維持課 建築住宅係(内線276)

地域	物件	間取り	家賃(月)	募集戸数	備考
十日町	黒沢県営住宅	昭和46年度建築 耐震耐火2階建	8,900円～14,600円	1戸	K17号室 (条件により単身可)
川西	下平新田団地	昭和47年度建築 木造2階建	20,000円	2戸	1、3号室 (駐車場なし)
	みのり団地 (特定公共賃貸住宅)	平成10年度建築 木造高床3階建	50,000円	1戸	301号室
松代	善宗塚市営住宅	昭和52年度建築 耐震耐火3階建	12,000円～19,900円	3戸	11、17、21号室
松之山	洪海団地 (特定公共賃貸住宅)	平成8年度建築 木造高床3階建	32,000円～44,800円	1戸	3号室
	湯山団地	平成10年度建築 木造高床3階建	50,000円	1戸	5号室

や手続きなどの相談を受け付けます。●日時＝12月13日(木)午後1時30分～4時30分●会場＝十日町商工会議所●参加費＝無料

### 金融相談窓

国民生活金融公庫、県信用保証協会、丸経資金、市・県制度融資など、年末決済資金や賞与等運転資金及び設備資金の相談を受け付けます。●日時＝11月20日(火)午前10時～午後6時●会場＝十日町商工会議所●持参するもの＝過去2期分の決算書・申告書、直近の試算表、印鑑●申込み・問合せ＝前日までに十日町商工会議所(☎757-5111)

### 11月は建設雇用改善推進月間です

建設産業の発展を図るため、建設業で働く人たちの雇用の安定・福祉の向上・労働災害の防止などの推進に取り組んでいます。建設業の雇用改善を支援する助成金制度もあります。●問合せ＝ハローワーク十日町(☎757-2407)

### 建築確認・検査の手続きが変わりました

建築物の安全性を一層確保するため、建築基準法などが一部改正され、6月20日から施行されています。改正では、建築確認・検査が強化され、改正前よりも審査に時間や費用がかかる場合がありますので、建築物の確認申請を予定している建築主の皆さんは次の点に注意してください。  
 ◆建築確認の法定審査期間が21日間から35日間(特に詳細な構造審査が必要な場合は最長で70日間)に延長されました。時間に余裕をもって手続きをしてください。  
 ◆確認申請の手戻りによって、審査期間の延長や申請手数料が新たに発生する場合があります。設計を依頼する建築士と事前に綿密な打合せを行ってください。  
 ◆軽微な変更を除き、設計変更には計画変更確認申請の手続きが必要になりますので、施工中の設計変更には注意をしてください。  
 ●問合せ＝南魚沼地域振興局地域整備部建築課(☎025-772-3958) または設計を依頼する設計士



### 市民福祉講座「みんなのための地域づくりⅡ」

●日時＝11月24日(土)午後1時～4時●会場＝中里コミュニティセンター●入場料＝無料※入場整理券(問合せ先に配置)が必要●内容＝第1部…講演「自らが人生の主人公に」増田一世氏(やどかり情報館館長) ほか、第2部…パネルディスカッション「障害をもつ人たちの人権と

### TOTO石油給湯機(ボイラー)点検のお願い

95年8月～99年6月製造のTOTO石油直圧式給湯機は、部品の一部不具合により、油もれが発生し発火・延焼に至る可能性があります。対象製品は無料で点検・部品交換しますので、至急ご連絡ください。●対象製品①次の①②に該当するもの…①型式名がRPE32K00、RPH32K00、RPE40K00、RPH40K00、RPE41K00、RPH41K00②製造番号の頭4ケタ(製造年月)が95・08～99・06※器具に点検済シールがはつてある場合は点検は完了しています●問合せ＝給湯機点検コールセンター(☎0120-444-309) ※受付は平日の午前9時～午後5時30分 またはTOTOホームページ(http://www.toto.co.jp/)

### 【市報おわびと訂正】

10月25日号に誤りがありました。14ページ「入園申込み案内(申込み・問合せ)」の本庁福祉課子育て支援係の電話番号は☎757-9196ではなく、正しくは☎757-9169でした。おわびして訂正します。

人生にむきあうために」●問合せ＝特定非営利活動法人工房なかさ(☎763-2252)

### 市民こころの栄養教室

●日時＝11月17日(土)午後2時～3時30分●会場＝クロス10●入場料＝無料●内容＝講演「いのちと向き合う生と死をとりまわす現場から」西原由記子氏(NPO法人国際ピフレンダース東京自殺防止センター相談員) ●問合せ＝十日町地域振興局健康福祉部地域保健課(☎757-2400)

### あつたむ

▼平成16年10月の中越地震発生以来、市役所正面玄関前、一時は3枚も掲げられていた災害対策本部の看板。あれから3年が過ぎ、今年9月20日に中越地震の、10月31日に中越沖地震の災害対策本部が解散し、「災害」の2文字がようやく3年越しで正面玄関から無くなりました。長かった3年、感無量です。

▼現在制作を進めている中越地震十日町市記録集「あしたへ」も完成間近。原稿を見ていると、3年前の出来事が昨日のことのようにみえつつあります。3年経った今だから作ることができた「記録集」になると思います。空の災害の記憶を風化させることなく、後世に受け継いでいくためにも、ぜひお買い求めください。

▼10月19日(金)に開催した十日町市施設見学会には、13名の市民の皆さんから市内5地域の代表的な施設を訪問するちよつと欲張りな計画だったので、走行した距離は約160km。従事する職員から施設の概要や業務について説明を聞き、「あの建物では何をやっているのだろう」とか「何のために作ったのだろう」など、普段抱かれる疑問が少しでも解消していただけたと思います。参加した皆さんから出される数々の質問に関心の深さを感じました。好評でした。見学会中、約束しましたこと、次回に生かしたいと思えます。当分の事業なので、私見を交え来年に向けて宣伝させていただきます。





あさがお



高橋ひまりさん (1年)

学校の庭にフサガオを植えました。  
どんどん伸びていっぺんをばらばら  
にして遊んだの楽しかったです。なつ  
に遊んだの楽しかったです。なつ  
に遊んだの楽しかったです。なつ  
に遊んだの楽しかったです。なつ

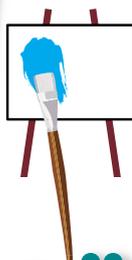


ハワイで魚をつった



星名那美さん (2年)

船長になって、大きな船でハワイに行っ  
てみたい。きれいな海を見たりカメ  
にエサをやったりしたら楽しそう。島  
ではみんながフラダンスでお出迎です。



# ジュニア芸術祭

29

千手小学校



みんなのひまわり



丸山佳乃さん (3年)

校庭にヒマワリ畑を作りました。暑い夏も3  
年生がみんなで水くれをしたり草取りをし  
ました。2学期になったらみんなの背より大  
きくなったので、とてもうれしかったです。



はじめてあたったボール



山家天文さん (4年)

紅白試合で、ぼくは初めて打席に立  
ちました。すごく緊張しました。最初  
は空振りでしたが、3球目でボールが  
バットにあたりました。うれしくて、  
一生懸命ファーストへ走りました。



夕陽の海



数藤裕紀さん (5年)

海が好きな僕は、ターナー(画家)の  
海の絵(上)を見て、水面下がどうなっ  
ているか気になりました。きつと、海賊  
船が沈んでいたり、サメが泳いでた  
りするんだろうなって想像しました。



なごみの場  
『ふるさと教室』



貝瀬はづきさん (6年)

「ふるさと教室」は、校舎にある一室です。  
畳敷きで囲炉裏があって、とても落ち着きま  
す。ここで、おじいちゃんやおばあちゃんと昔  
の遊びやお話しをするのが楽しみです。